

## 教材活用シリーズ 第184回

☆日図協加盟出版社の発行している教材について、実際の授業における活用例、より効果が得られるポイント（場面・方法）などをご紹介します。

### 小・中学校で学習する漢字や語句を 効率的に総復習できるドリル教材

(株)五ツ木書房  
『漢字と語句』  
『漢字5分間テスト』国語



にしかわ はなこ  
西川 華子

(株)五ツ木書房  
第一編集部・国語担当

#### 1. はじめに

今年の9月末、ある学習アプリ開発会社と国立大学法人が、「日本教育工学会 2025年秋季全国大会」で発表した研究成果によると、研究調査に参加した小学生は、紙のドリルについて書写や送りがな、文字構造の理解に役立つと評価していることがわかりました。

この研究は、「先生による説明」・「学習アプリ」・「紙のドリル」という三つの学習方法が、漢字学習におけるさまざまな学習項目のうち、どれについて効果的だと小学生が評価したかについて調査したものです。例えば、「先生に

よる説明」は漢字の意味や用法の理解に、「学習アプリ」は反復学習や学習進度管理にそれぞれ役に立つという結果でした。「紙のドリル」は手を使って繰り返し練習することで基本技を強化する学習方法として高い効果を発揮するため、前述の評価がなされたのだと考えられます。

次期学習指導要領が小学校で全面实施される予定の2030年度から、デジタル教科書も正式な教科書として認める流れになっていきますが、懸念されているような、「デジタルか紙か」という二項対立ではなく、学習の目的に応じて使い分けることが求められるでしょう。

#### 2. 教材の特長

本稿では、紙媒体のドリル教材『漢字と語句』『漢字5分間テスト』をご紹介します。両教材は、小・中学校で学習する漢字や語句を効率的に学習し、高校入試に向けた知識を定着させるために制作いたしました。

『漢字と語句』は、中学1～3年各35回編成で、表裏合わせて100点満点としています。表面の上位に漢字の読みとり、下段に漢字の書きとりの問題を配置しています。裏面は漢字クイズや同音異義語・同訓異字、四字熟語、故事成語、ことわざ、慣用語、対義語・類義語、和語・漢語・外来語、熟字訓、熟語の構成など回によって多種多様な語句の問題を配し、すべての回に「次の出題漢字」という予習コーナーを設けています。令和7年4月からの新教科書使用に合わせて改訂しました。

『漢字5分間テスト』は、中学1～3年各72回編成で、表面のみで10～14問としています。表面はすべての回で漢字の書きとり4問、読みとり4問に加え、総画数、かなづかい、漢字しりとり、誤字の訂正、都道府県名、漢字の成り立ちなど、回によって多種多様な語句の問題を配しています。裏面は、次回出題内容の予習用問題にしています。

(1)共通…「書きとり」は小学校学習漢字から、「読みとり」は中学校学習漢字から出題

公立高校入試では、「書きとり」は小学校学習漢字から、「読みとり」は中学校学習漢字から出題される傾向があります。しかし、例えば

### ▲ 予習用問題

▲「書きとり」は小学漢字、「読みとり」は  
中学漢字から

弊社が所在する大阪府で実施される公立高校入試（令和7年度一般入学者選抜のうち、標準的難易度とされるB問題）では、「書きとり」の平均正答率は $62 \cdot 3\%$ 、「読みとり」は $65 \cdot 3\%$ というように、「書きとり」の方がやや低くなっています。私たちは、公立高校入試を見据えて読み書きどちらにもまんべんなく学習できるようにという意図をもって、両教材を作成しました。

(2)共通…予習用問題↓本テストの「完全リレ－式学習」で確実に知識を定着

知識の定着には、復習が欠かせません。

両教材は、各回の終わりに予習用問題をつけているので、前の回で予習用問題に取り組んで、次の回の本テストを解くことが復習になります。これにより、達成感をもって確実に知識を定着させることができます。

(3)『漢字と語句』…表面は予習の成果を、裏面は実力を測る構成

表面は、前の回で示された予習用問題の内容をそのまま出題しているので、予習の成果を見ることが出来ます。

裏面は、漢字クイズや同音異義語・同訓異字など、予習用問題には含まれない語句の問題です。ここで実力を測るとともに間違えた問題は新たな知識としてとり入れることが可能です。

(4) 『漢字5分間テスト』.. 手で書いて覚える基礎学習のための漢字練習用のマス目

すべての回の裏面には、次の回で書きとり問題として出題する漢字を書き写すためのマス目を設けています。これにより、部首や漢字のバランスなど文字構造の理解を助けます。

紙とタブレット端末で比較したとき、紙の方が書いた内容を記憶する効果が高いという調査結果を何度も耳にするこの時代に、生徒たちには入試本番と同様に紙に書く従来の学習方法をやめずに実践し続けてほしいと考えています。

### ▲漢字練習用のマス目

### 3. 終わりに

漢字一字一字の音訓を理解し、語句として話や文章のなかにおいて文脈に即して意味や用法を理解しながら読むことは、読解力・表現力の基礎になります。読解力・表現力は、国語科のテストでよい成績を取るためだけでなく、他教科の学習にも深く関わります。何よりも、生徒たちがこれからの長い人生でより深く学び、よりよく対話するための、大切な手段となる力です。私たちの教材が、生徒一人ひとりの読解力・表現力の向上に寄与し、豊かな人生を送るための一助となることを願い、本稿を締めくくります。